

### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0590400180		
法人名	株式会社 タクト		
事業所名	グループホーム 観音堂		
所在地	秋田県大館市字観音堂391		
自己評価作成日	令和2年12月28日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.akita-longlife.net/evaluation/">http://www.akita-longlife.net/evaluation/</a>
----------	---

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会		
所在地	秋田県秋田市下北手松崎字前谷地142-1		
訪問調査日	令和3年1月15日		

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・日々の状況に応じて、業務内容を変更し、入居者様に合わせた一日を作っている。毎日、温かい雰囲気の中で生活していただけるように、入居者様とのコミュニケーションを大切にしている。

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

新型コロナウイルス感染防止のため、活動がままならない状況の中でも紅葉狩りに出かけて写真におさめ、家族に送付して利用者の様子を報告しています。機能の低下した利用者が多く、職員の負担は増してきていますが、業務の大変さをいとわず支援に努め、看取りにも取り組んでいます。

#### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~53で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
54	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	61	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
55	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	62	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
56	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	63	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
57	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	64	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
58	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
60	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	福祉事業部の理念をもとに、自施設の理念を掲げております。その都度、理念に沿ったケアの提供ができるよう、職員間で共有するように心がけております。	職員はホームの理念を理解して取り組んでいます。管理者は親しみやすい表現で理念が身近なものとして体感できるものにつくり替えることを検討しています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎年、夏祭りを開催し、地域の方々との交流の場を作っておりましたが、今年はコロナウイルス対策として行事を中止したり、外出を控えておりました。	行事の中止によって利用者が外部の方と交流することはできていませんが、近所で買い物し、配達にも対応していただいております。事業所自体は地域の一員としてのお付き合いをしています。	
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	本来は、ご家族様や地域の方々に参加でき、グループホームを知っていただく場を設けていたのですが、今年は感染対策から外部の方々との接触を極力控えさせていただきました。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナウイルス対策のため、資料の配付とさせていただきます。ありがとうございます。	行政、家族、地域関係者が会議メンバーとなっており、資料を送付していますが、記録を残しておりません。	対面での開催が困難なことはやむを得ないものの、運営推進会議の意義を再考し、資料送付にとどまらず、意見や提案が得られる工夫を期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市の福祉課からは、日ごろからメール等で様々な情報を提供してもらっています。また、対応が困難な事例については、その都度、市の担当に確認しながらアドバイスをもらっています。	メールでの情報収集の他、電話や窓口に向く等して連携を図っています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的な委員会の開催のほか、日々のケアの中でも声のかけ方や行動が、入居者様の行動の制限に繋がっていないか…等を話し合い、その都度対応しております。	勉強会で周知を図り、職員は身体拘束のないケアに取り組んでいます。言葉遣いについては折に触れて話し合っています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	常に虐待に繋がるような言動、行動はないかを確認しております。職員がイライラしないような職場の環境作りに努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	なかなか詳しく学ぶ機会がなく、研修等があった場合は参加したい思っております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	コロナ対策のため、施設の見学をしていただけない状況ではありますが、面談や契約時は、ゆっくりとお時間をいただき説明させていただきます。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々の申し送りや連絡ノートを活用し、入居者様やご家族様からの要望を伝え、全職員に周知しております。また、頂いたご意見や要望は、できる限り添えるよう検討し対応しております。	利用者からは日常の関わりの中で、家族からは電話等で要望を聞き、対応しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員とは、少しでも話しやすい関係を築けるよう努力しております。内容によっては、業務に反映しております。	現在は蜜を避けるために職員会議を行っていませんが、申し送りで意見を収集しています。備品の購入や環境改善に職員の意見が反映されています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の生活や能力を考慮しつつ、楽しく笑顔で働ける環境づくりを心がけております。また、給料を見直したり、年間休日を増やしたりと環境改善に取り組んでおります。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、代表者自身や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	資格習得時のサポートは継続しておりますが、近場での研修機会が少ないことと、コロナ対策もあり研修への積極的参加ができていない現状です。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同法人の施設間では、日常的に情報を交換し共有しております。得た情報に関しては、職員にも伝えております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	契約や入居者前には、必ずご本人とご家族に会い、状況の把握に努めております。また、入居後は、職員間で情報を交換しながら、ご本人が新しい環境での生活で不安にならないよう環境づくりやケアを行っております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本来は、施設内の見学をお勧めし、雰囲気を見ていただいておりますが、現在は感染対策のため実施しておりません。面談の際は、ご家族様の都合に合わせて、ゆっくりとお話ができるよう配慮しております。		
17		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	声掛けだけではなく、会話をする心を心がけ、日々接しております。		
18		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナ対策で面会をお断りしている現状です。遠方のご家族様は特に心配されていると思います。電話での状況報告や、写真の送付等をして対応しております。		
19	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	在宅中から利用していた美容院の継続やご家族との通院を継続しております。	理美容院の利用等、入居前からの馴染みの関係が継続できるよう支援しており、家族の協力も得られています。	
20		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の相性や、認知症状、介護度を考慮した上で、席の配置換えを行ったり、職員が間に入り会話が成立するよう、お手伝いしております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご本人様やご家族様の負担にならない程度に、退所後も行事へのお誘いや年賀状のやり取りを継続しております。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
22	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人様やご家族様からの聞き取りを行い、職員間で話し合っております。また、訴えが難しい方の場合、日ごろの暮らしの中での表情や言動から気持ちを汲み取り、少しでもご本人様の希望に添えるよう努力しております。	利用者の何気ない言葉等、日常の会話や反応から思いを汲み取り、申し送り等で情報の共有を図って介護計画に活かせるように取り組んでいます。家族からも話を聞くようにしています。	
23		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様や、在宅時の担当ケアマネ、サービス利用施設からの情報をもとに、ホームでの生活内でも、生きがいを見つけ楽しく生活できるよう努力しております。		
24		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	全職員が把握できるよう、申し送り、記録、連絡ノートを活用しております。細かい変化、気づきはその都度話し合い、検討しケアの実施につなげております。		
25	(10)	○チームでつくる介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様やご家族様の要望をもとに、職員で話し合い作成しております。	利用者の日常をアセスメントし、担当職員への聞き取りや申し送り、日々の記録を基にモニタリングし、他の職員の意見も参考にして介護計画を作成しています。	
26		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケア記録をもとに、申し送りやケア会議を行い、情報共有しながら、現状に添ったケアの実践を行っております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	かかりつけ医や市担当者からの助言、情報をもとに、安全な暮らしができるよう支援しております。		
28	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時、当施設の協力医や薬局を説明させてもらっています。基本的には、在宅時から通われている病院の継続をお勧めしております。ご家族様対応の受診の場合は、その都度現状をお伝えし、医師に伝えていただくようお願いしております。	希望する医療機関での受診に対応していません。薬局の協力も得られ、適切な支援が行われています。	
29		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師は採用しておりませんので、入居者様の体調に変化があった場合は、管理者やケアマネに速やかに連絡報告するよう徹底しております。また、かかりつけ医にも連絡し、スムーズに受診できるよう努めております。		
30		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は、こまめに病院やご家族様と連絡を取り状況を確認しております。		
31	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	かかりつけ医によって異なりますが、往診等に対応してくださる病院もあり、その都度ご家族様や医師と話し合いながら取り組んでおります。	家族にはホームでできることを説明しており、状況に応じて医師から説明していただいています。本人のかかりつけ医によって対応が異なるものの、看取りの事例があり、その際の職員へのフォローも行われています。	
32		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	実践的な訓練ができておりません。状況を見ながら、救命講習等を依頼し実施したいと思っております。		
33	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練の実施ができておらず、今後の課題です。	昨年は火災を想定した訓練を1回行っていましたが、訓練の内容に検討が必要であること、及び水害の危険区域であることも職員は認識しています。	訓練を行うことで課題を見出すことができることから、災害に応じた対応を地域及び法人協同で取り組まれることを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
34	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様一人一人の個性を把握し、その方に合わせた距離感や言葉を使ったコミュニケーションを行っております。	日頃の関わりの中で利用者の理解に努め、その人に合わせたケアをしています。職員間で情報を共有することでその人を尊重した対応となるよう検討しながら支援しています。	
35		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様の希望や要望の収集に繋がるよう、コミュニケーションを大切にしております。自己決定の難しい方は、表情の変化や前後の行動から熊内を汲み取れるよう努力しております。		
36		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れをあまり業務化せず、ゆっくりと過ごしていただけるよう努力しております。		
37		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	なじみの美容院の継続や、日々の整容、毎朝の洋服選びなど、入居者様が身だしなみに無関心にならないようお手伝いしております。		
38	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様が負担にならない範囲で準備や後片付けを一緒に行っております。また、職員も一緒に食事をとり、見守りながらも会話をしながら楽しい食卓になるよう心がけております。	手伝ってくれる方もおり、無理強いせずに機能の低下防止に繋がるように支援内容を考えながら職員と一緒にいるようにしています。	
39		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々に合わせた食事量、形態で提供しております。在宅時から好んで飲まれていた飲み物等を日課で飲んで入居者様もいらっしゃいます。		
40		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、歯磨きやうがいを行い、口腔内の清潔に努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	できる限りトイレでの排泄を継続しております。自立された方でも、羞恥心に配慮しながら、声掛けや見守りで排泄の確認をさせてもらっております。	ベッド上でオムツ交換している方はおりますが、ほとんどの方はトイレで排泄しています。チェック表でその人毎に管理し、状況に応じた支援が行われています。	
42		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	野菜や食物繊維が多く摂れる食材を献立に多く取り入れております。また、水分をこまめに摂ってもらったり棟内を散歩しながら快便に繋がるよう支援しております。		
43	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	おおよその入浴予定は決めておりますが、気分が乗らない時などは無理強いせず、時間帯や日にちを変更し対応しております。入浴はその都度お湯を張り替え、午前と午後に分け、ゆっくりと入っていただけるようにしております。	毎朝陰部洗浄を行っている他、週2回入浴しており、車椅子の方も安全に配慮しながら支援しています。好みの湯温を把握し、強く拒否する方はいないものの状況に応じた対応が行われています。	
44		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中はソファでうたた寝される方、お部屋で休まれる方とそれぞれ自由に休まれております。夜間も、できる限りその方の希望に添った就寝時間と起床時間に対応しております。		
45		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方内容が変更になった場合は、申し送りや連絡ノートで周知しております。また、服薬チェック表に記入しながら、職員間で声を掛け合い、飲ませ忘れや誤薬防止に努めております。		
46		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様それぞれの得意分野を見つけ、入居者様の自信につながるような働き掛けを行っております。		
47	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	今年はコロナ対策で、外出等の制限をさせてもらいました。	外出制限のある中で紅葉狩りに出かけ、車窓からの景色を楽しんでいただけるよう支援しています。外出を好まない方が多いものの、玄関前に出たり、ユニット間の往来をすることで機能低下防止に繋げています。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者様のお小遣いは、ご家族様同意のもと、事務所金庫に保管させてもらっています。買い物の希望があった場合は、職員が対応し購入しております。		
49		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状やはがき、写真などが送られてきた場合は、ご本人様にお渡しし、お部屋に飾る等氏対応しております。		
50	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	定期的な換気、消臭対策を行っております。季節ごとの絵葉書を飾ったり、玄関に造花を置き、季節感を演出しております。	ユニット毎に利用者の状態に応じて飾りつけを変える等の工夫をしています。ホールのソファを3人がけから1人用のものに変更したことでゆっくり使用することができ、移動も楽にできるようになっています。	
51		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	日中は、ほとんどの方がホールで過ごされ、入居者様同士や職員と会話をしたり、テレビを観たりろ個々に過ごされております。		
52	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居される段階で、ご家族様にはご自宅で使っていた馴染みの物の持ち込みをお願いしております。また、ご家族の写真を飾ったり、ご本人様の状況に合わせたお部屋作りを行っております。	入居前から使用していたものを持参していただいたことにより、馴染みのものに囲まれて落ち着いて生活できる環境がつくられています。	
53		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者様に合わせた設備の活用を心がけ、安全に配慮しながらも「できること」の継続に努めております。		